

しのいしょう 篠井小 ほけんしつ  
保健室

1/22(木)に学校保健・給食委員会を開催いたしました。報告・協議のあとに、学校内科医 廣田勝太郎先生、学校歯科医 半田良浩先生、学校薬剤師 萩原明星先生の3名から、講話をいただきました。

今回は、講話の一部抜粋をお知らせいたします。



## がっこうほけん きゅうしょくいいんかい 学校保健・給食委員会



### 【ウイルス感染について】

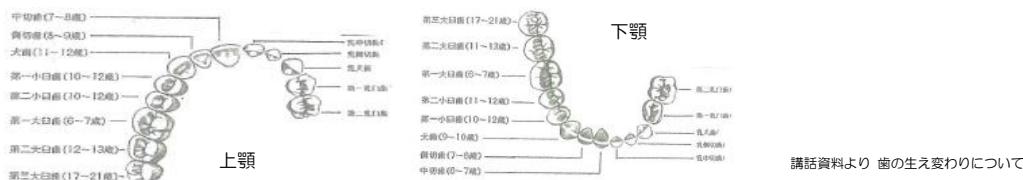
- |                  |               |           |
|------------------|---------------|-----------|
| 1 ウィルスについて       | 2 インフルエンザについて | 3 コロナについて |
| 4 かぜに抗生素は効きません!! | 5 抗生素と耐性菌     |           |
| 6 A型肝炎麻疹など       | 7 B型肝炎C型肝炎    |           |
- の項目で多岐に渡り専門的な立場からお話をいただきました。
- とくに、“6 A型肝炎 麻疹”については小児期に罹ると軽くすみ、抗体が一生続き二度と罹らない。そのため、これらの病気にはワクチンを小児期に打つことが大切とのことでした。



### 【小学生の歯について】

歯の生え変わりや、永久歯の先天性欠如、MIIH、第二大臼歯萌出障害などについてお話をいただきました。

とくに、MIIHとは原因不明の歯のエナメル質の形成不全であり、第一大臼歯と前歯におこり、白濁や黄褐色、褐色が認められ、後に欠損がおこりやすい症状だそうです。



講話資料より 歯の生え変わりについて



### 【子宮頸がんとその予防について】

子宮頸がんは初期の自覚症状はありません。進行すると不正出血やおりものの増加、下腹部や腰の痛み等症状があります。将来、妊娠出産ができなくなる可能性もあります。

子宮頸がん予防にはワクチン接種と定期検診が大切です。

ワクチンの定期接種は小学校6年生から高校1年生相当の女子です。

ワクチンは複数回うつ必要があります。ご家庭でよく相談してください。

今回の学校保健・給食委員会では、令和7年度の篠井小の健康診断結果統計や保健室来室状況、新体力テスト結果統計、給食実施状況についても学校側から報告を行いました。実際に報告した内容をさくら連絡網で配信いたしましたので、ぜひご確認ください。